

18年10月20日（土）午後前半の部 13：00～16：00

セッション1：座長 足立 和隆

O-A1 13:00-13:15 東京都三鷹市羽根沢台遺跡の古墳時代人骨のゲノム分析

神澤 秀明 (国立科学博物館人類研究部)

O-A2 13:15-13:30 ヒト、シロテテナガザル、ニホンザル歩行時の体幹回旋角度の比較

木下 勇貴 (京都大・霊長研)

O-A3 13:30-13:45 大脳化のブドウ糖仮説

林 俊郎 (目白大学社会学部社会情報学科)

O-A4 13:45-14:00 歩行時における足底と床面間の距離を測定する装置の開発 (2)

足立 和隆 (筑波大学・体育系)

セッション2：座長 今村 薫

O-A5 14:00-14:15 ネアンデルタールとサピエンス：大腿骨のマクロ形態の発生パターンの比較

森本 直記 (京大・理)

O-A6 14:15-14:30 The Quadrangulus-OJ-FM clearly shows the difference between humans and apes in projections to both the Frankfurt and the Sagittal planes

澤野 啓一 (神奈川歯科大・法医)

O-A7 14:30-14:45 立位股関節回旋運動時の角度曲線への影響因子の検討ーテンポへの適応性の違い

竹内 京子 (東京医科大学人体構造学分野)

O-A8 14:45-15:00 カザフ人の移牧とラクダによる運搬技術ーモンゴル国の事例からー

今村 薫 (名古屋学院大学)

セッション3：座長 中務 真人

O-A9 15:00-15:15 遺伝性網膜疾患におけるABCA4遺伝子多型の集団遺伝学的解析

中伊 津美 (東大・院理)

O-A10 15:15-15:30 ヒトの懸垂型ロコモーション時における体幹筋の活動

岡 健司 (大阪河崎リハ大・リハ・理学療法)

O-A11 15:30-15:45 先スペイン期ペルー北部高地エル・パラシオ遺跡より出土したラクダ科動物骨の解体痕について

清家 大樹 (聖マリアンナ医大・解剖)

O-A12 15:45-16:00 現生大型類人猿の中手指節関節種子骨とその進化的意味

中務 真人 (京都大・院理)